

問題点6：在宅ホスピスケアの担い手不足

在宅ホスピスケアの研修，教育の機会を準備する。

●文 献●

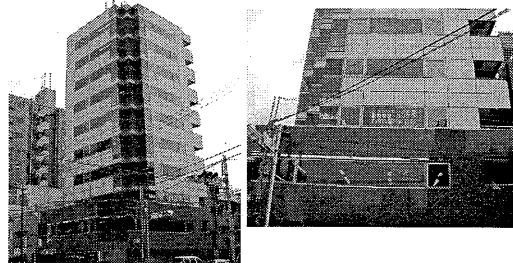
- 1) 川越厚：在宅ホスピスケアにおける医療の姿，家庭で看取る癌患者；在宅ホスピス入門．川越厚・編，メヂカルフレンド社，東京，1991，pp.130～152.
- 2) 川越厚，辻彼南雄，佐藤智：在宅ホスピスケアにおける症状コントロール．癌治療学会誌，27：1993-2000，1992.
- 3) 川越厚：肺癌患者の在宅ホスピスケア．呼吸管理学会誌，4：88-92，1994.
- 4) 川越厚：在宅ホスピスにおける疼痛管理．ペインクリニック，13：495-499，1992.
- 5) 川越厚：在宅での症状コントロール，家庭で看取る癌患者；在宅ホスピス入門．川越厚・編，メヂカルフレンド社，東京，1991，pp.138～143.
- 6) 川越厚：症状緩和；症状別の対応，在宅ホスピスケアを始める人のために．川越厚・編，医学書院，東京，1996，pp.54-78.

2002/7/24 厚生労働省 あらたな看護のあり方に関する検討会

静脈注射、点滴などを訪問看護師が行なうこと
— 当クリニックの現状と課題 —

ホームケアクリニック川越 院長
川越 厚

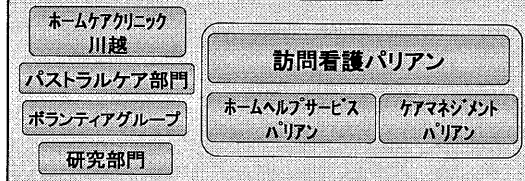
ホームケアクリニック川越
墨田区緑(両国)



グループ・パリアンとは

在宅患者(特に末期がん患者)支援グループ

グループ・パリアン



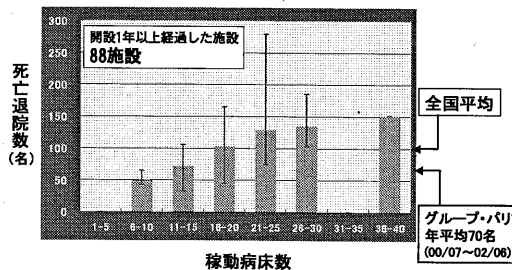
全登録症例

(00/07~02/06)

登録症例		177
死亡	合計	146
	在宅	(140)
	一般病棟	(1)
	緩和ケア病棟	(5)
生存中		21
中止		10

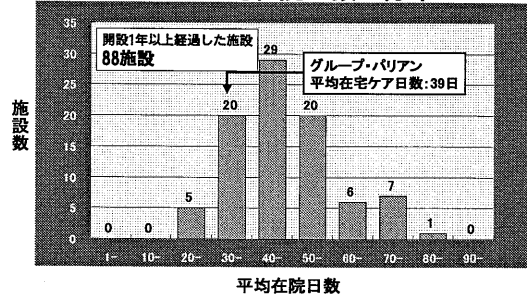
月平均在宅死数: 約6名 平均在宅ケア期間: 39日

PCUIにおける死亡者数(2001年度)



全国ホスピス・緩和ケア病棟連絡協議会2001年度アンケート結果より

PCU平均在院日数の分布



全国ホスピス・緩和ケア病棟連絡協議会2001年度アンケート結果より

点滴・静注の有用性
—高齢者の脱水—

87歳女性(原疾患特になし)
00/7 脱水症状(8/中~9/初:近医入院治療)
/9/10 脱水症状(傾眠傾向)
/9/20 初回往診。末梢点滴(500ml)開始
~/29 点滴終了

その間の医師往診3回, 訪問看護2回/日

在宅において医療処置を行う上での
キーワード

生活

自然

安心

安全

59歳乳がん患者の在宅ホスピスケア症例

—開始時における医療上の問題点—

1. 症状:
 - 1) 膀胱留置カテーテルが詰まって痛い
 - 2) 血尿
 - 3) 臀部の痛み
2. 評価と計画
 - 1) 膀胱留置カテーテル挿入の状態
→在宅で簡単にできる膀胱留置カテーテルの管理
 - 2) 硬膜外モルヒネ継続中
→硬膜外モルヒネを中止後、皮下モルヒネ注射とし、
時期を見て経口へ

硬膜外持続注入から皮下注へ



59歳 女性 乳がん

59歳乳がん患者の在宅ホスピスケア症例

—医療処置経過—

	Epi	CSI	経口	Foley's	特記事項
94/5/27	○	○		○	初回訪問
6/2	○	○		○	
8	○	○		○	
19			○		入浴
27			○		
9/6			○		膀胱麻痺
10/7			○		経口摂取不可能
10/10					在宅死

在宅ホスピスケア開始4ヵ月後、
家族に看取られて自宅で死亡



59歳 女性 乳がん